5月30日(金)に高知大学朝倉キャンパス・メディアの森1階のリフレッシュコーナーにて、第5回 buntan café を開催しました。5月5日が子どもの日ということで、子ども(子育て)とスポーツというテーマで、お二人の先生(東京未来大学子ども心理学部・藤後悦子先生、ならびに高知大学地域協働学部・中村哲也先生)にご登壇頂きました。

藤後先生はご自身のお子さんの子育て中に地域でのスポーツに関わるようになり、そこで監督やコーチなどの指導者と子どもの関係、あるいは親(保護者)と子どもや指導者との関係などについてご研究されるようになりました。それら研究の結果として、子どもたちがよりのびのびと育っていくために「スポーツ・ハラスメント」の防止が必要との視点に立ち、教材動画なども作成され、発信されています(※1)。また中村先生はご著書の『体罰と日本野球』やご自身の野球チームのコーチとしてのご経験、またお子さんの子育てから見えてくる保護者としての視点についてもお話くださいました。中村先生は、ご研究の中で日本のスポーツ文化をより良いすることを目指した日本スポーツ史がご専門ですが、体罰研究ということでyoutube などにもご登壇されています(※2)。

本イベントには、学内の教職員や一般の方含め、12名の参加がありました。ご自身のお子さんの習い事や部活、地域スポーツとのかかわり、また保護者同士のコミュニケーションなど、日ごろから抱える疑問や課題などについてもディスカッションを行うことができました。

※ 1 東京未来大学 こどものスポーツ研究グループ https://togotokyo101.wixsite.com/mysite/web

※ 2 (為末大学 Tamesue Academy 【体罰はいつ始まったのか?知られざる歴史】) https://youtu.be/ACli6XcpcJU?si=yiLyxSNl468s1x8o





